

日時 2018年3月16日（金）13:00～14:00

会場 日本学術会議6階6-A(1)会議室

参加者(敬称略) 大谷, 川幡, 木村, 高橋, 田近, 中村(尚), 西山, 春山, 藤井

欠席者(敬称略) 中村(卓)

1. 前回議事録（案）の承認

2. 第3回地球惑星科学委員会審議事項等の検討

企24-4-2a～2dを基に議論と検討を行い、以下の決定を行った。

- 1) ヒアリングは地球・惑星圏分科会と協力して地球惑星科学委員会として実施するが、当日の最初の「方針・検討方法説明」に委員会委員ではない発表者の参加も可とすることとした。発表者への案内文に、「10時からの「方針・検討方法説明」は地球惑星科学委員会の議事ですが、委員で無い発表者のご参加も歓迎いたします」のような内容でお知らせすることとする。
- 2) 評価は提案の3段階から5段階（5：非常に優れている。4：優れている。3：普通。2：少し劣っている。1：劣っている）に変更する。
- 3) 評価は絶対評価とする。
- 4) 評価結果の利用については7件以上聴講した評価者の評価点数のみを使用する。このことをあらかじめ周知する。また、ウェブ上の評価シートに各課題毎にその課題を聞いたかどうかを確認する項目とボタンを用意する。更に、当日の参加者リストにより、参加者の評価であることを確認する。
- 5) 一方、コメントについては聞いた件数に関わらず、提案者のアドバイスとして利用する。
- 6) 評価項目は、提案の5項目を変更し、評価の視点7項目と同じ内容の7項目とし、総合評価に「ブレークスルを期待できるかを含めて」という注をつけ、評価の視点に含める。具体的に7項目は：
 - (1) 学術的価値
 - (2) 実施主体の明確性（責任を果たせる体制になっているか）及び科学者コミュニティの合意（他の提案との重複の有無なども含む）
 - (3) 計画の妥当性、成熟度、共同利用体制の充実度
 - (4) 社会的価値（国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値）
 - (5) 大型研究計画としての適否

- (6) 国家としての戦略性, 緊急性
- (7) 予算化のための計画の準備状況

3. 分科会及びJpGU ユニオンセッションの報告
資料を基にプログラムの紹介が行われた。